

震災豫防調査會報告總目錄

●第一號 (明治二十六年十一月二十日發行)

(一) 貴族院議員理學博士菊池大麓ノ同院ニ提出シタル建議案并ニ同人ノ同院ニ於ケル演說……………第二〇頁

(二) 本會官制……………第三二頁

(三) 濃尾震災ノ鐵道ニ及ホシタル震害調査報告(原口委員提出)……………第三三頁

(四) 地震計調査ニ關スル報告(田中館、中村、長岡、大森各委員提出)……………第四〇頁

(五) 耐震家屋ニ關スル報告(辰野委員提出)……………第四二頁

(六) 吾妻山噴火ニ關スル報告(大森委員提出)……………第六〇頁

●第二號 (同二十七年八月二十五日發行)

(一) 愛知縣震災報告(江森臨時委員提出)……………第八頁

(二) 福井縣震災景况報告(福井縣報告)……………第六九頁

(三) 餘震ニ關スル報告(大森委員提出)……………第一〇三頁

(四) 名古屋及仙臺兩市ニ於ケル磁力計室ニ關スル報告(田中館、中村兩委員提出)……………第一四〇頁

●第三號 (同二十八年六月八日發行)

(五) 地震ト地球磁力ノ變動トノ關係ニ付會長ノ開陳……………第一四一頁

(六) 深井穿掘ニ關スル報告(吉田委員提出)……………第一四四頁

(七) 深井地質第一回報告(理科大學々生山崎直方調査小藤委員提出)……………第一四七頁

(八) 材料強弱試驗ニ關スル報告(田邊、眞野、井口、各委員提出)……………第一五五頁

(九) 人爲地震ヲ生スル方法ニ付報告(關谷、田邊、井口、大森、各委員提出)……………第一六三頁

(十) 構造物雛形調製ニ關スル報告(辰野、片山、中村、曾禰、各委員提出)……………第一六四頁

○地震其他地異彙報(自明治二十五年九月至同二十七年三月)……………第一六七頁

●第三號 (同二十八年六月八日發行)

(一) 岐阜三重兩縣土木工事震害復舊工事ニ關スル報告(佐伯臨時委員提出)……………第九頁

(二) 材料強弱試驗第二回成績ニ關スル報告(田邊、眞野、井口、各委員提出)……………第一五頁

(三) 北海道地震ニ關スル報告(大森委員提出)……………第二七頁

(四) 同上記録調査ニ關スル報告(大森委員提出)……………第三七頁

(五) 同上構造物震災調査ニ關スル報告(囑托學士石井敬吉提出)……………第四七頁

(六) 烟突修繕方ニ付注意(本會ヨリ文部大臣ヘノ報告)……………第六九頁

(七) 煉瓦烟突危害豫防等諮問ニ對スル答申

(内務省照會ニ關シ文部大臣ノ諮問ニ對スル本會ノ答申)……………第六九頁

(八) 千葉神奈川兩縣下地裂線調査ニ關スル

報告(囑託員理學士大塚專一提出)……………第七二頁

(九) 山形縣下地震調査ニ關スル報告(大森委員提出)……………第七九頁

(十) 同上震災地巡回取調ニ關スル報告(中村委員提出)……………第一〇七頁

(十一) 同上震害家屋取調ニ關スル報告(曾禰委員提出)……………第一一七頁

(十二) 古來出羽ニ於ケル大地震記事(囑託員田山實調査)……………第一三一頁

(十三) 地震動傳達ノ速度及「波丈ケ」ニ關スル報告(大森委員提出)……………第一三五頁

○地震其他地異彙報(自明治二十七年四月至同年十二月)……………第一四二頁

●第四號 (同 二十八年七月三十日發行)

(一) 構造物雛形調製ニ關スル報告(辰野、片山、中村、曾禰各委員提出)……………第五頁

(二) 東京附近地震被害建物等調査ニ關スル

報告(同上各委員提出)……………第一三頁

(三) 同上被害橋梁調査ニ關スル報告(囑託員之助調查石黒、田邊兩委員提出)……………第九一頁

(四) 水平振子觀測ノ報告(工科大学教師シヨシ、ミルン提出)……………第九三頁

○地震其他地異彙報(自明治二十八年一月至同年三月)……………第九五頁

●第五號 (同 二十八年八月十五日發行)

○東京附近地震被害工場烟突調査ニ關スル

報告(眞野委員提出)

●第六號 (同 二十八年九月二十九日發行)

○木造耐震家屋調査ニ關スル報告(辰野、片山、中村、曾禰、各委員提出)

●第七號 (同 二十八年十二月三十日發行)

(一) 山形縣下震災被害建物調査報告(大學院學生及工科大学學生等調査)……………第四頁

(辰野、中村兩委員提出)……………第四頁

(二) 同上(大學院學生工學士野口孫市調査)……………第一五頁

(三) 東京地震被害建物實況調査報告(大學院學生工學士塚本靖、野口孫市、囑託員山崎定信調査)……………第三一頁

(辰野、片山、中村、曾禰各委員提出)……………第三一頁

●第八號 (同 二十九年三月九日發行)

(一) 庄内地震ニ關スル地質學上調査報告

(小藤委員提出)……………第一頁

(二) 妙高火山彙地質調査報文(囑託員理學士山崎直方調査)……………第二三頁

(三) 米山火山地質調査報文(囑託員理科大學々生岩崎重三調査)……………第八七頁

(四)毛無火山近傍地質調査報文(囑託員理學士清水實隆調查)

小藤委員提出……………第一三七頁

●第九號 (同 二十九年七月二十四日發行)

(一)山形縣下震災後建築視察報告(囑託員工孫市調查辰野、片山、中村、曾禰各委員提出)

……………第五頁

(二)大島火山調査報文(理學士山崎直方調查小藤委員提出)

……………第三三頁

●第十號 (同 二十九年十一月十九日發行)

○煉瓦接合試驗成績第一回及同第二回報告(囑託員吉見鎮之助調查田邊委員提出)

……………第五頁

●第十一號 (同 三十年一月二十二日發行)

(一)三陸地方津浪實況取調報告(囑託員理科大學々生伊木常誠調查小藤委員提出)

……………第五頁

(二)三陸地方津浪前後地球磁力變動報告(中村委員提出)

……………第三五頁

(三)布哇島ノ津浪詳報抄譯

……………第三七頁

(四)三陸津浪彙報

……………第四一頁

(五)陸羽地震調查概報(囑託員理學士山崎直方調查小藤委員提出)

……………第五〇頁

(六)秋田縣震災調查報告(巨智部委員提出)

……………第七五頁

(七)陸羽震災地巡回報告(中村委員提出)

……………第八四頁

(八)岩手秋田兩縣下震害家屋調查報告(曾禰委員提出)

……………第九二頁

(九)震害家屋ノ修繕ニ就テノ注意(本會ヨリ秋田岩手兩縣ルモノ)

……………第一〇五頁

(十)陸羽震災前ニ於ケル地球磁力ノ變動報告(和田委員提出)

……………第一〇六頁

(十一)陸羽地震彙報

……………第一〇九頁

(十二)榛名火山及角落火山地質調査報文(囑託員理學士岩崎重三調查小藤委員提出)

……………第一四〇頁

●第十二號 (同 三十年六月二十七日發行)

(一)煉瓦接合強弱試驗成績第三回報告(囑託員吉見鎮之助前澤初治調查田邊委員提出)

……………第五頁

(二)高架鐵道布設計畫ニ關スル遞信省鐵道局照會及本會回答

……………第二二八頁

●第十三號 (同 三十年九月十三日發行)

(一)北海道根室ニ建設セル改良日本風木造家屋建築仕樣及圖面

……………第五頁

(二)東京市深川ニ建設セル改良日本風木造家屋建築仕樣及圖面

……………第九頁

(三)木造日本風改良構造仕樣及圖面

……………第一三頁

(四)木造耐震家屋雛形解說概要及寫真

……………第一九頁

(五)公共用木造二階建改良構造仕樣及圖面

……………第二九頁

(六)大不列顛理學獎勵會ノ提議ニ關スル本會

委員會ノ決議……………第三一頁

●第十四號 (同 三十年十二月十日發行)

○工場烟突調査ニ關スル報告(眞野委  
員提出)

●第十五號 (同 三十一年一月六日發行)

○木材接合試驗成績第一回報告(囑託員吉見鎮  
之助前澤初治  
調査田邊  
委員提出)

●第十六號 (同 三十一年一月三十一日發行)

○箱根熱海兩火山地質調査報文(囑託員理科大  
學々生平林武  
調査小藤  
委員提出)

●第十七號 (同 三十一年二月二十六日發行)

○伊豆半島火山地質調査報文(囑託員理學士石  
原初太郎調査小  
藤委員  
提出)

●第十八號 (同 三十一年四月二十九日發行)

○赤城火山地質調査報文(囑託員理科大學々生齋  
藤讓調査小藤委員提出)

●第十九號 (同 三十一年五月二十九日發行)

○荒船火山地質調査報文(囑託員理科大學々生佐川  
榮次郎調査小藤委員提出)

●第二十號 (同 三十一年六月二十七日發行)

(一)深井地質第二回報告(囑託員理學士山崎直  
方調査小藤委員提出)

(二)八ヶ嶽火山彙地質調査報文(上)

●第二十一號 (同 三十一年七月二十八日發行)

(一)人爲地震臺改修報告(眞野委  
員提出)……………第五頁

(二)煙突振動實驗報告(田中館、眞野  
兩委員提出)……………第七頁

(三)人爲地震波速度測定報告(大森委  
員提出)……………第一七頁

(四)地震波傳達速度測定第一回報告(大森委  
員提出)……………第二一頁

(五)同第二回報告(囑託員理學士今村明  
恒調査大森委員提出)……………第三一頁

(六)地震動ノ強度ト被害トノ關係調査報告  
(大森委  
員提出)……………第四五頁

(七)仙臺市及附近震災被害調査報告(囑託員  
理學士  
木村駿吉六波  
羅奎次郎提出)……………第五一頁

(八)福井縣大飯郡内變動地調査報告(囑託員  
理學士  
伊木常誠調査  
小藤委員提出)……………第五七頁

(九)東印度震災畧誌ニ關スル報告(近藤委  
員提出)……………第六七頁

○地震彙報(自明治三十年一月  
至同年十二月)……………第七一頁

●第二十二號 (同 三十一年九月九日發行)

○印度震災地巡回報告(中村委  
員提出)

●第二十三號 (同 三十一年十月十七日發行)

○煉瓦接合強弱試驗成績第四回報告(囑託員  
吉見鎮  
之助前澤初治調  
査田邊委員提出)

●第二十四號 (同 三十二年二月十五日發行)

(一)深井地質第二回報告(囑託員理學士山崎直  
方調査小藤委員提出)

(二)八ヶ嶽火山彙地質調査報文(上)

○富士及愛鷹火山地質調査報文(囑託員理學士  
平林武調査小  
藤委員  
提出)……………第九七頁

●第二十五號 (同 三十一年十二月二十日發行)

○印度アッサム地方震災實況調査報告(小  
山  
臨時  
委員  
提出)……………第一一頁

●第二十六號 (同 三十二年二月八日發行)

○日本地震史料目錄(囑託員田山實寬  
集大森委員提出)……………第三頁

○日本地震史料目錄ノ調査(大森委  
員提出)……………第一一三頁

●第二十七號 (同 三十二年三月十五日發行)

○日光火山彙地質調査報文(囑託員理學士齋藤讓  
調査小藤委員提出)……………第五七頁

●第二十七號附錄 (同 三十二年九月十日發行)

○六甲山鳴動ニ關スル意見(大森委  
員提出)……………第八一頁

●第二十八號 (同 三十二年九月十日發行)

○煉瓦柱破壊及柱狀物體轉倒ニ關スル調査(大森委  
員提出)……………第四頁

○明治二十七年六月二十日東京激震ノ調  
査(同  
上)……………第七一頁

○明治二十四年十月二十八日濃尾大地震ニ  
關スル調査(同  
上)……………第七九頁

○明治二十七年六月二十日東京激震ノ地震  
計記錄圖(同  
上)……………第九七頁

●第二十九號 (同 三十二年九月二十九日發行)

○福岡地震調査(囑託員理學士伊木常  
誠調査小藤委員提出)……………第五頁

○東京ニ於ケル福岡地震餘波ノ觀測調  
査(大森委  
員提出)……………第一一頁

○三陸津浪取調(囑託員理學士今村明  
恒調査大森委員提出)……………第一七頁

○工科大學二階地震驗測ノ結果(大森委  
員提出)……………第三三頁

○地震ノ初期微動ニ關スル調査(同  
上)……………第三七頁

○遠地地震ニ關スル調査(同  
上)……………第四七頁

○宮古地震觀測ノ調査(同  
上)……………第五七頁

○震災ト水位ノ關係第一回報告(囑託員前澤  
初治調査近  
藤委員  
提出)……………第八一頁

○支那地震表(大森委  
員提出)……………第八五頁

○地震其他地異彙報(自明治三十一年一月  
至同年十二月)……………第一〇七頁

●第三十號 (同 三十三年六月四日發行)

○餘震ニ關スル調査第二回報告(大森委  
員提出)……………第五頁

○日本ニ於ケル地震ノ一年中及一日中ノ分  
布(同  
上)……………第三〇頁

●第三十一號 (同 三十三年七月十日發行)

○高原火山地質調査報文(囑託員東京帝國大學理科大學々)

生金原信恭調査  
小藤委員提出

●第三十一號 (同 三十三年九月十三日發行)

○地震觀測方ニ關スル意見(大森委) 第七頁

○地震動ノ性質ニ關スル調査第一回

報告(上) 第九頁

○物體ノ轉倒及移動ニ就キテ(上) 第一九頁

○月(太陰)ト地震トノ關係ニ就キテ第

一回報告(上) 第三五頁

○明治三十一年八月福岡激震ニ關ス

ル調査第二回報告(上) 第四七頁

○日本ノ大地震ニ就キテ(上) 第五五頁

○青森ニ於ケル地震回数(上) 第六三頁

○明治二十四年十月廿八日濃尾大地

震調査第二回報告(上) 第六七頁

○京都地震觀測ノ調査第一回報告(上) 第八九頁

○大阪地方震害調査報告(曾禰委) 第一〇五頁

○地震波傳播ノ速度測定第三回報告(今村臨時委員提出) 一二二頁

○明治三十三年五月十二日陸前地方ニ發セシ強

震前ニ於ケル磁力變動調査報告(囑託員理學士大石和三郎調査)

和田委員提出 第二二七頁

○地震ト地磁氣トノ關係調査報告(囑託員理學士本間義次郎調査和

田委員提出) 第一三一頁

○地震其他地異彙報(自明治三十二年一月至同十二月) 第一四五頁

●第三十三號 (同 三十四年二月二十日發行)

○阿蘇火山調査報文(囑託員理學士伊木常誠調査小藤委員提出)

●第三十四號 (同 三十四年一月二日發行)

○日本ニ於ケル津浪ニ就キテ(大森委) 第五頁

○三陸大津浪被害地圖面(近藤委) 第八一頁

●第三十五號 (同 三十四年九月二十日發行)

○「ミルン」式水平振子記象ニ關スル調査(今村臨時委員提出)

第五頁

○餘震ニ就テ(囑託員理學士鹽治應太郎調査大森委員提出) 第二五頁

○地震ノ大小ト震域トノ關係ニ就テ(上) 第五七頁

○材料強弱試驗成績第三回報告(眞野委) 第六五頁

○羅臼火山鳴動調査事項報告(囑託員理學士金原信泰調査大森委員提出) 第七三頁

○地震其他地異彙報(明治三十三年中) 第八五頁

●第三十六號 (同 三十四年十一月十八日發行)

○那須火山地質調査報文(囑託員理學士松田繁調査小藤委員提出)

●第三十七號 (同 三十四年十二月十九日發行)

○鐵道橋梁ノ「曲リ」及振動ノ驗測(大森委員提出)